

# 浜松市立平山小学校 校歌

作詞 森田 勝平  
作曲 外山 文彦

一 みかんはみのる緑葉の  
晴れて明るい我が郷土  
ここ平山のまなびやに  
集いて学ぶうれしさよ

二 智恵は浜名の水と澄み  
三ヶ日の空と胸晴れて  
よるこび日々新しい  
学びの窓よ我が友よ

三 暑さ寒さもいとわな  
茂るみかんの木のよう  
強いからだとよい心  
仲よくみんな  
のばしましう



平山小学校校歌 作意  
作詞者 森田 勝平

第一節  
校章・帽章がみかん葉に包ま  
れた美しい平山郷、浜名湖にそ  
して太平洋に面した冬も明るい  
郷土。  
「みかんはみのるみどり葉の」  
とみを三つ続け、美郷と実ると  
気候の美に通わしめました。

第二節  
幼くとも知性は浜名の永久に  
すむ湖の如く、三ヶ日の青空の  
如く、かつきりと晴れて愁など  
絶対にかからぬ今日より明日へ  
と時代の新を希求し、新を汲み  
そのを教へ下さる先生へ、「学び  
びの窓よ」と呼びかけて感謝の  
意を含めました。

第三節  
「あかるく、強く、正しく」が  
学校のモットーでありますので  
何とかなその意に添いたいとあつ  
さ寒さもたゆみなしという所を、  
「理想の域にのばしましよ」と  
もしました。また、清き理想へ  
と心には「仲よくみんな」で  
するの「がよいと考えました。」と

「善い心」に主力をそそぎ雨風に  
まなみかんの木の如くありたい念  
願。  
「穂つて正月神棚用となり必需最高  
嗜好として民族を樂しませる  
しかん奮励の「よい心」をあらわしま